

# 事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度
------	-------	--------	--------

所属・担当者氏名	保健部 地域包括支援課 支援係 大島 祐子	評価責任者 (担当課長)	地域包括支援課 山本 歩未
----------	-----------------------	--------------	---------------

## 1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	高齢者いきいき相談室	② 整理番号	02060301-005
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	心豊かな市民・教育・福祉	
	節	安心と健康、生きがいのある福祉社会の実現	
	項	高齢者福祉の充実	
	号	高齢者の健康で自立した生活づくり	
④ 関連する個別計画	第7期介護保険事業計画	⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	介護保険法・大和高田市地域包括支援センター設置規則		

## 2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	「まちの保健室」として、保健師、看護師、社会福祉士等の専門職を配置し、気軽に相談できる場として、健康相談等を受けている。また、介護予防の拠点として、体を柔軟にするための「ラジオ体操」や筋力アップを目的とした「いきいき百歳体操」を行うと共に、高齢者のニーズに合った講座を開催し、「自助」活動への支援を行う。また、居場所の機能として、地域で活動を展開していけるよう支援し、「互助」活動に繋がるよう事業を展開していくことで介護予防を図る。
② 対象 (誰・何を対象として)	・市内の65歳以上の高齢者とその家族
③ 手段 (どのようなやり方で)	・電話、来所等による相談受付 ・介護予防事業、高齢者のニーズに合った講座の実施 ・広報誌・関係機関や関係事業にてチラシ配布、ホームページによる周知
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	・まちの保健室として、健康相談等を受け、地域で安心した生活を送ることができる体制構築 ・介護予防事業に力を入れて取り組み、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう支援体制の構築 ・住民が主体となり、地域で支え合う地域活動を展開していけるよう事業展開

## 3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円,人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費				274	(予算) 388
② 概算人件費				(2.63) 7,642	
(関与比率) 一般職員				(0.21) 1,472	
(関与比率) 嘱託職員				(2.42) 6,170	
(関与比率) 臨時職員					
③ 合計 (① + ②)				7,916	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					(当初予算)
⑤ 一般財源 (③ - ④)				7,916	

#### 4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 高齢者いきいき相談室利用者	高齢者いきいき相談室来場者延べ人数				17,244 人
	②					
成果指標	① いきいき百歳体操参加者数	いきいき百歳体操参加者延べ人数				9,770 人
	② 総合相談件数	特記すべき相談件数				1,158 件
効率指標	①					
	②					

#### 5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	B	介護予防事業への参加者が定着し習慣化してきており、今後も継続して実施していく。今後、参加者が主体的に実施できるようサポートし地域へ広がるよう支援体制構築のため、シニアリーダー等が担い手として活躍できる場になるよう事業展開していく。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	B	継続して介護予防事業に参加されている方が多く、参加者は定着し安定している。相談件数も、年々増加傾向である。しかし、課題として、新規利用者は伸び悩んでいることが上げられるため、今後周知方法等を検討し、新規利用者を増やしていき、より多くの市民に活用してもらえるよう実施していく。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	B	相談受付後必要に応じ関係機関へつないだり、介護予防事業や講座等を実施の際、他の事業と協働しての事業展開し、コスト削減に取り組んでいる。今後、さらに関係機関との連携を強化し、事業を展開していく。

#### 6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）
B	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input checked="" type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他
	まちの保健室として、相談件数は増加傾向であり、今後も気軽に相談できる体制整備を行う。また、介護予防事業への継続しての参加者が定着してきている。しかし、新規利用者は伸び悩んでいる現状であるため、今後、シニアリーダーや生活介護支援サポーター、住民主体での活動の場等と連携して事業展開していくことで、より多くの市民に利用してもらえるよう努める。

#### 7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）